

平成29年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
委員会		第1回 5/11							第2回 12/14			第3回				
委員による意見交換会	別海地区 4/19		湧別地区	→	8/22	岩見沢市 北村豊正 地区 9月28日		七飯地区	→		2/20					
指導員 関連事業	Web版 里づくり (毎月)	第1回 幹事会 (札幌) 5/24		情報誌 里づくり 15号	→	8/3	道北ﾌﾞｯｸ (留萌) 8/1～2	地域づく り研修会 (札幌) 9/5	現地研修 (檜山) 10/18 ～19	道央ﾌﾞｯｸ (日高) 11/7～8	道南ﾌﾞｯｸ (渡島) 11/15 ～16	12/12 ～13	第2回 幹事会 (札幌) 1/23午前	指導員会 (札幌) 1/23午後	全国研修 (東京)	情報誌 里づくり 16号
その他									農水省ふる 水基金全国 担当者会議 12/26							

平成29年度北海道ふるさと・水と土指導員名簿

平成29年9月 現在

No.	局名	市町村名	氏名	職業等	主な活動	推薦者	任期	備考
1	空知	雨竜町	外山 謙一	無職	農村景観保全・自然再生活動等	土地連	平成31年3月31日	
2	空知	沼田町	野 道夫	無職	自然再生活動等	町長	平成30年3月31日	
3	空知	岩見沢市	高柳 広幹	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成30年3月31日	
4	空知	岩見沢市	小西 泰子	農業	地域活動全般	土地連	平成30年3月31日	
5	空知	栗山町	金丸 大輔	地方公務員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
6	石狩	石狩市	阿岸 哲広	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成30年3月31日	
7	後志	喜茂別町	遠城 諭史	会社員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
8	後志	喜茂別町	坂爪 洋介	農業	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
9	後志	喜茂別町	白川 博順	地方公務員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
10	後志	真狩村	佐伯 秀範	農業	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
11	後志	蘭越町	親谷 隆	農業	自然再生活動等	町長	平成30年3月31日	
12	胆振	厚真町	荒城 敏文	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成30年3月31日	
13	日高	浦河町	中村 勇市	農業	環境整備・農作業体験	土地連	平成30年3月31日	
14	日高	浦河町	中川 貢	団体職員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
15	日高	新冠町	佐藤 剛	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
16	日高	日高町	田中 義光	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
17	渡島	知内町	佐藤 暁樹	住職	自然観察指導	町長	平成30年3月31日	
18	渡島	知内町	笠松 悦子	農業	農産物加工販売等	町長	平成30年3月31日	
19	渡島	八雲町	小林 石男	農業	地場産品加工直売	町長	平成30年3月31日	
20	渡島	八雲町	元山 美芳	農業	農産物加工販売等	町長	平成30年3月31日	
21	渡島	七飯町	田中 いずみ	無職	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
22	渡島	森町	宮崎 渉	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
23	檜山	厚沢部町	佐々木 俊司	会社役員	地域活動全般	土地連	平成30年3月31日	
24	檜山	江差町	小笠原 明彦	団体嘱託員	農村景観・農作業体験指導	土地連	平成31年3月31日	
25	檜山	上ノ国町	吉見 俊彦	無職	農村環境・景観保全活動等	土地連	平成32年3月31日	
26	檜山	せたな町	富樫 一仁	農業	地域活動全般	土地連	平成31年3月31日	
27	檜山	乙部町	鈴木 修二	団体嘱託員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
28	上川	幌加内町	中村 雅義	農業	地域活動全般	土地連	平成30年3月31日	
29	上川	愛別町	山中 富士男	地方公務員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
30	上川	南富良野町	大居 政則	農業	環境整備活動等	町長	平成30年3月31日	
31	上川	南富良野町	岩永 かずえ	農業	農産物地産地消活動等	町長	平成32年3月31日	
32	上川	南富良野町	鷹嘴 充子	会社役員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
33	上川	当麻町	小野寺 孝一	無職	地域活動全般	土地連	平成30年3月31日	
34	上川	旭川市	田中 弘子	農業	都市農村交流等	市長	平成30年3月31日	
35	上川	上川町	佐藤 績	農業	地域活動全般	土地連	平成32年3月31日	
36	上川	上川町	辰巳 明美	農業	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
37	上川	鷹栖町	田坂 正実	農業	地域活動全般	土地連	平成32年3月31日	
38	上川	中富良野町	久保 照美	花卉卸し販売	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
39	留萌	苫前町	白府 勝二三	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成30年3月31日	
40	留萌	小平町	長澤 政之	地方公務員	自然体験指導	町長	平成31年3月31日	
41	留萌	小平町	高野 幸子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
42	宗谷	稚内市	菊池 工	会社員	地域活動全般	市長	平成32年3月31日	新規
43	宗谷	豊富町	尾崎 滋	団体職員	都市農村交流等	町長	平成32年3月31日	
44	林-ㇿ	北見市	馬淵 陽子	農業	農産物直売等	市長	平成30年3月31日	
45	林-ㇿ	北見市	黒須 倫子	農業	地域活動全般	土地連	平成30年3月31日	
46	林-ㇿ	湧別町	久保 美恵子	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
47	林-ㇿ	清里町	柳谷 亜紀子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
48	林-ㇿ	興部町	仲元寺 恒平	団体職員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
49	林-ㇿ	興部町	八木 美央	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
50	林-ㇿ	雄武町	石井 恭子	会社員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
51	林-ㇿ	津別町	佐野 多希子	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	新規
52	林-ㇿ	津別町	河本 純吾	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	新規
53	十勝	豊頃町	神 義宏	地方公務員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
54	十勝	帯広市	伊藤 由紀子	酪農業	地域活動全般	市長	平成31年3月31日	
55	十勝	鹿追町	高橋 貴子	会社員	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
56	十勝	浦幌町	高橋 徹	会社役員	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
57	釧路	鶴居村	服部 政人	団体職員	都市農村交流等	村長	平成31年3月31日	
58	釧路	鶴居村	水本 梨佳	酪農業	地域活動全般	村長	平成32年3月31日	新規
59	釧路	厚岸町	高橋 美佐子	無職	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
60	根室	別海町	水沼 和子	無職	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
61	根室	別海町	佐藤 節子	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
62	根室	別海町	渡邊 広美	酪農業	地域活動全般	町長	平成30年3月31日	
63	根室	別海町	尾形 好枝	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	29新規

平成29年度 北海道ふるさと・水と土指導員名簿

平成29年9月現在

ブロック	委員（市町村）、◎会長、○副会長、△幹事、アンダーラインは女性			
道央16名	空知5名	△外山 謙一 (雨竜町)	後志5名	遠城 諭史 (喜茂別町)
		野 道夫 (沼田町)		坂爪 洋介 (喜茂別町)
		高柳 広幹 (岩見沢市)		白川 博順 (喜茂別町)
		小西 泰子 (岩見沢市)		佐伯 秀範 (真狩村)
石狩1名	○阿岸 哲広 (石狩市)	日高4名	中村 勇市 (浦河町)	
	胆振1名		荒城 敏文 (厚真町)	中川 貢 (浦河町)
道南11名	渡島6名	佐藤 暁樹 (知内町)	桧山5名	佐々木俊司 (厚沢部町)
		笠松 悦子 (知内町)		小笠原明彦 (江差町)
		○小林 石男 (八雲町)		△吉見 俊彦 (上ノ国町)
		元山 美芳 (八雲町)		富樫 一仁 (せたな町)
		田中いずみ (七飯町)		鈴木 修二 (乙部町)
		△宮崎 渉 (森町)		
道北16名	上川11名	中村 雅義 (幌加内町)	留萌3名	佐藤 績 (上川町)
		山中富士男 (愛別町)		辰巳 明美 (上川町)
		大居 政則 (南富良野町)		久保 照美 (中富良野町)
		△岩永かずえ (南富良野町)	宗谷2名	△白府勝二三 (苫前町)
		鷹嘴 充子 (南富良野町)		長澤 政之 (小平町)
		◎小野寺孝一 (当麻町)		高野 幸子 (小平町)
		田中 弘子 (旭川市)	十勝4名	菊池 工 (稚内市)
		田阪 正実 (鷹栖町)		尾崎 滋 (豊富町)
道東20名	林-ツ9名	△馬淵 陽子 (北見市)	十勝4名	△神 義宏 (豊頃町)
		黒須 倫子 (北見市)		伊藤由紀子 (帯広市)
		久保美恵子 (湧別町)		高橋 貴子 (鹿追町)
		柳谷亜紀子 (清里町)		高橋 徹 (浦幌町)
		仲元寺恒平 (興部町)	釧路3名	○服部 政人 (鶴居村)
		八木 実央 (興部町)		水本 梨佳 (鶴居村)
		石井 恭子 (雄武町)		高橋美佐子 (厚岸町)
		河本 純吾 (津別町)	根室4名	水沼 和子 (別海町)
		佐野 多希子 (津別町)		佐藤 節子 (別海町)
	渡邊 広美 (別海町)			
	尾形 好枝 (別海町)			

計63名 (男38・女25)

地域活動支援事業

(1) 実践活動地区 (4地区、括弧は年次)

湧別町湧別地区 (3)、別海町別海地区 (2)、七飯町七飯地区 (2)、

岩見沢市北村豊正地区 (2)

(2) 住民意識醸成地区 (1地区)

根室市厚床地区

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書(案)

事業実施年度	平成29年度				
総合振興局等名	オホーツク総合振興局				
活動地区名	湧別地区	活動団体名	JA湧別町女性部マルシェ部会		
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	当初	費目	積算根拠
(PR事業) 地場産農産物を活用した商品を地域住民や一般消費者にPRする	広報活動(需用費)				
		小計	0		
(研修事業) 今後の活動の展開方法を検討する	パス借り上げ料(使用料)、講師謝礼	・6次産業化に関する先進地視察(雄武町ほか)	60,000	使用料	
		小計	60,000		
(食育事業) 地場産農産物のPRを通じた食育活動	食材提供費(需用費)	・小学校及び中学校における食育活動における食材費及び必要な資材の購入	75,000	需用費	食材費(小学校35000、中学校40000)
			90,000	需用費	エプロン、三角巾、ポロシャツ10セット
		小計	165,000		
(新商品開発事業) 新たな試作品の開発に向けた取組	加工施設視察及び新商品開発(使用料)(委託料)	・「食品成分分析(牛乳うどんかりんとう等)」 ・アンケート調査切手代	200,000	委託料	食品成分分析
			10,000	役務費	アンケート調査切手代
			210,000		
		小計	0		
		科目別	165,000	需用費	
			10,000	役務費	
			0	報償費	
			200,000	委託料	
			60,000	使用料	
合計			435,000		

別記様式第4号
活動計画

団体名		JA湧別町女性部マルシェ 部会			市町村名	湧別町		地区名	湧別地区				
めざす姿		活動を通じて開発した商品が、長く愛される「地域ブランド」となるよう、食を通じ地域の活性化を図る											
活動の方向	NO	活動の内容			目標(数値・定性)			解決すべき課題					
	1	PR事業			地域住民			地域(湧別町)内で、「食」に対する部会の姿勢が認識されていない加工品の開発に対するマルシェ部会の取組が周知されていない。そこで、パンフ等を作成し、部会の取組の周知を図る。					
	2	研修事業			部会員等			構成員は全員農業者であり、地域活動の展開についてノウハウがない。そのため今後の地域活動に活かせるよう、先進地事例を知る。					
	3	食育事業			小中学校、老人ホーム等			湧別町では牛乳をはじめとする農産物や水産物が産出されるが、その「加工」への取組はなされていなかった。そこで、地場産農産物の加工品を「食する」を通じ、部会が商品開発を進めたきっかけとなった「食の大切さへの認識」を伝える。					
	4	商品開発			部会員等			部会の活動を通じて開発された商品が「安全」で「機能的」かどうかの数値的根拠がないため、これらを分析に、適切な表示を行い消費者への情報提供を行う。また「流水とうもろこし」のはね品が多いという課題があり、これを活用した新たな商品を開発する					
※予算額単位は「千円」													
3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成27年度		平成28年度			平成29年度			最終目標	適用事業	
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
	PR事業	1	パンフ作成			のぼり等作成	147	20枚				地場産農産物や開発した商品をPRにより、地域ブランドとしての地位を築く	中山間ふるさと・水と土保全対策事業(地域活動支援事業)
	研修事業	2	先進地視察	52	1回(興部)	先進地視察	115	1回(中札内村)	先進地視察	60	1回(雄武町)	今後の方策を検討する	
	食育事業	3	食材提供及び食育事業等	45	3回(小学校1、老人ホーム2)	食材提供及び食育事業等	29	1回(小学校)	食材提供及び食育事業等	165	2回(小・中)及び機材等	取組の内容を理解することで、地場産商品に対する地域住民の意識を醸成する	
商品開発								意向調査	10	通信費	新たな商品を開発する。また取組により誕生した商品の品質情報を把握し、安全で安心な地域ブランドとなるよう商品を育てる。		
	4	食品成分検査	162	対象:牛乳うどん半生種	食品成分検査	156	対象:牛乳うどん乾麺	食品成分検査	200	対象:水産物関連商品			
関係者等		マルシェ 部会		代表		久保 美恵子(01586-6-2214)							
		JA 湧別町女性部		代表		越智 祥子							
		湧別町農業協同組合		営農相談課長		小幡 敏(01586-5-2121)							
		湧別町		農政課耕地係長		池田 孔紀(01586-2-5861)							
		湧別町教育委員会		課長		佐藤 敏正(01586-5-3143)							

活動計画

団体名		チームNKB			市町村名		別海町		地区名		別海地区		
めざす姿		～花とハーブのネットワークづくり～ 町内の酪農女性、特に道外出身の方は酪農業や家事に追われ、積極的な仲間づくりが進んでいない。また、町内の地域資源は乳製品に偏っており、農家個々が高付加価値商品を開発するには至っていない。このことから、新たな地域資源として、まずはハーブをテーマとした取り組みをすすめ、オール別海の女性の輪づくりを並行させながら、地域の活性化の糸口とする。											
活動の方向	NO	活動の内容			目標(数値・定性)			解決すべき課題					
	①	○酪農女性の仲間づくり 道外出身者の活動の場ということを視野に入れながら、酪農業を営む女性の活動母体(ネットワーク)づくりを進める			・定期的な交流会の開催(年2回)			・普段交流のない酪農女性の参加促進 ・魅力ある活動を継続することにより定期的な交流会の開催					
	②	○ネットワークの拡大 酪農女性を中心とした活動母体に、町内外の他団体(女性中心の団体を想定)を巻き込んでいく			・3年目には他団体との連携			・町内外の女性ネットワークの構築 ・特に関係が希薄な農業者と漁業者のつながり(ネットワーク)の構築					
	③	○ハーブなど新たな地域資源の発掘 寒冷地であり限られた地域資源に、新たな要素を生み出すよう、まずは冷涼地帯に適しているハーブを中心に、新たな地域資源を発掘していく			・各農家でハーブ栽培の普及			・栽培技術及び加工技術の習得					
	④	○別海の魅力発信 上記①～③の活動について、町内外を問わず広く発信していく			・機関紙の発行			・取組みの認知 ・参加者の拡大					
3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成28年度			平成29年度			平成30年度			最終目標	適用事業
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
	仲間づくり	①	先進地視察	100千円	1回(鶴居村)	先進地視察	35,296千円	1回(北見市 道内)					ふるさと・水と土(地域活動支援事業)
		②				親子イベント	51千円	1回/年	親子イベント	100,290千円	2回/年		
	ハーブ栽培の取組み	③				栽培技術及び利活用講習会	120千円	1回/年					
		③	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・ネット)	34千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・資材)	31,722千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・資材)	60,450千円	メイン1ヶ所		
	情報発信	②③	ハーブ・キッチン(加工技術研修)	24千円	1回(別海町)	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	61千円	2回/年	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	100,300千円	2回/年		
		①④	農業士会での試供品配布		1回/年	農業士会、酪農女性のつどいでの試供品配布		2回/年					
		②③							品評会(JA、JF、商工)の開催	50千円	1回/年		
		②④							PRパンフレット作成機関紙の発行(各イベント等)	150千円	1回/年		
関係者等	別海町女性農業士会		事務局:別海町産業振興部農政課										
	別海酪農女性のつどい		事務局:別海町産業振興部農政課										
根室農業改良普及センター		専門普及指導員 大畑 和子											

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	別海地区	活動団体名	チームNKB	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
ハーブ・ガーデン	需用費 需用費 需用費	ハーブ・ガーデンの整備。 ▶苗 ▶肥料 ▶園芸資材	46,000	
			4,000	
			10,000	
		小計	60,000	
ハーブ・キッチン	使用料及び賃借料 需用費 役務費	ハーブを活用した調理加工体験の開催。(2回) ▶会場使用料 ▶材料費(食材、その他)	19,000	
			80,000	
			1,000	
		小計	100,000	
親子イベント	使用料及び賃借料 需用費 役務費	ネットワーク作りの一環として、親子参加型イベントの開催。(2回) ▶会場使用料 ▶材料費	19,000	
			80,000	
			1,000	
		小計	100,000	
PRパンフレット	需用費	地区活動内容のPRパンフレットを作成し、周知を図る。	150,000	
		小計	150,000	
合計			410,000	
			0	報償費
			0	旅費
			370,000	需用費
			2,000	役務費
			0	委託料
			38,000	使用料及び賃借料
費目内訳			410,000	

活動計画

団体名		七飯の食を考える会			市町村名	七飯町		地区名	七飯				
めざす姿		◇子どもから大人まで「ななえ食」を学ぶ (七飯町は西洋農業発祥の地であり農作物(大根、人参等根菜類及び長ネギ)の収穫も道南では上位を占め、又緑豊かな森と湖の大沼地域は酪農(肉牛)や水産、まさしく食の宝庫である。) ・未来を担う子ども達及び地域住民に、「ななえ食」を再認識してもらい、産地見学・学習体験等を通して、ふるさとである七飯町に愛着を持つ環境を整える。 ・「ななえ食」を活用した産地見学会(収穫体験)や料理の開発、加工品等により七飯町の魅力を町内外に発信する。											
活動の方向	NO	活動の内容			目標(数値・定性)			解決すべき課題					
	①	◇「ななえ食」の地域資源に関する取組み ・食材(農林水産物)の再発見! ・地域住民と生産者(地域講師)の交流・勉強会			・地域活動勉強会の開催 ・生産者(地元講師)の学習会の開催			・子どもから大人まで「ななえ食」の歴史を知り食を知る企画促進。 ・地域内全体での地域講師の発掘。 ・異世代交流方法(地域講師と子ども達)					
	②	◇「ななえ食」の体験塾(仮称)「美味しいななえ探検隊」(食育・調理加工・木育等)に関する取組み ・子ども参加型(地域モデル校:軍川小学校) ・地域住民参加型			・産地見学会・体験学習会及び加工工場見学会の開催			・提供者、ボランティアなど運営問題、指導整備が必要。 ・他校での取組みをする学校等の増加 ・地域内での産地見学場所の選定					
③	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進			・会のメンバー増員 ・ボランティアスタッフ増加									
3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成28年度			平成29年度			平成30年度			最終目標	適用事業
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
	「ななえ食」に関する取組み	①	地域活動勉強会	8.6 15 万円	1回/年 (11月)~(3月)	地域活動勉強会	8.6 9.6 万円	1回/年 (1月)	地域活動勉強会	29 10 万円	1回/年 (10月)	[「ななえ食」の再認識及び、地元講師の発掘・登録する。	中山間ふるさと・水と土保全対策事業(地域活動支援事業)
									「ななえ食」地域の産地見学(1回/3ヶ所程度)	6 5 万円	1回/年 (9月)		
	美味	②	「ななえ食」子ども産地見学(2回/1ヶ所) (1回/3ヶ所)	3.3 40 万円	2回/年 (6月、9月)	「ななえ食」子ども一汁三菜(ご飯、汁物)調理体験(和食)	11.6 16.6 万円	1回/年 (10月)	「ななえ食」子ども工場見学(1回/3ヶ所)	0 5 万円	1回/年 (9月)	産地見学、体験学習、調理加工を実施することにより、地元の生産者との触れ合いを通して地元の良さを再認識する。	
			「ななえ食」子どもフルコース調理体験(洋食)	28 25 万円	1回/年 10月	「ななえ食」子ども作付け~収穫~調理・加工	8.8 24.6 万円	3回/年 1回/通年 秋レシピ含む	「ななえ食」の地元講師とりまとめパンフ作成	0 25 万円	3,000部カラー		
						「ななえ食」の調理体験(レシピ作成)会員を対象	16.7 11.8 万円	2回/年 (春、夏)	「ななえ食」食育活動とりまとめ本(冊子)作成	100 万円	1,000部20Pカラー		
			「ななえ食」のレシピ作成	35 万円	3,000部カラー				「ななえ食」のパネル作成	45 万円	15部(A1)		
			「ななえ食」のパネル作成	45 万円	15部(A1)				「ななえ食」の体験地図産地パンフ作成	0 30 万円	3,000部カラー		
			「七飯の食を考える会」エプロン作成	13.1 万円									
活動内容の地域へ	③				「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフ作成	39.3 35 万円	3,000部カラー				会の活動内容を地域住民に理解してもらうこと及び「ななえ食」の魅力をもPRすること。		
関係者等		七飯の食を考える会			代表 田中 いずみ、対馬 明子、種畑 智佐子、山田 あゆみ、吉田 静子、宮後 英子、藤吉 愛、和泉 詩織、牧野 成美								
		七飯町			農林水産課 TEL 0138-65-2511 FAX 0138-66-2054								
		七飯町立軍川小学校			TEL 0138-67-2333 FAX 0138-67-3591								

*「ななえ食」とは、七飯町で生産・加工されたすべての食材(農林畜水産物)

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書(案)

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名				
活動地区名	七飯	活動団体名	七飯の食を考える会	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
勉強会 「食育・食材を思う」 及び「ななえ食:歴史」 (メンバーに対する意識醸成)	(報償費)	勉強会(10月) 2hr 意見交換会2hr 親子調理体験4hr	112,000	評論家 14,000円×8H
	(旅費)		113,000	JR往復・ホテル1泊 置戸⇄七飯
	(需用費)		65,000	親子料理体験食材等
	(使用料)		0	(町施設公用使用)
			小計	290,000
「ななえ食」 地域産地見学会 子供工場見学会 (1回/3箇所程度)	(使用料)	地域勉強会 ・小学生	50,000	バス借上げ 50,000円×1回
	(需用費)		10,000	雑機材等10,000円×2回
			小計	60,000
「ななえ食」食育活動 取りまとめ本作成 1,000部 カラー20P	(委託料)	ななえ食の活動を地域住民 に広報活動	1,000,000	デザイン・イラスト含む
			小計	1,000,000
「ななえ食」のパネル 作成 A1~15部	(委託料)	ななえ食レシピ及び会の活動 紹介	450,000	デザイン・イラスト含む
			小計	450,000
		小計	0	
		小計	0	
合計			1,800,000	
			112,000	報償費
			113,000	旅費
			75,000	需用費
				役務費
			1,450,000	委託料
			50,000	使用料及び賃借料
費目内訳			1,800,000	

活動計画

団体名	豊正FAM協議会		市町村名	岩見沢市		地区名	岩見沢市北村豊正					
めざす姿	～ 人が訪れる地域づくりを通して、老後も元気に暮らす ～ 近年、高齢化に伴う離農や店舗の撤退などで過疎化が進行しつつある中、生産者組織「北の大地マルシェ」(空き店舗を活用した直売事業と落花生の加工事業を推進)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらえることで地域の活性化を図る。 また、「北の大地マルシェ」事業と並行し、従前から実施している交流事業(フットパスイベントや落花生まつり)の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など複合的な活動を進めていく。											
活動の方向	NO	活動の内容	目標(数値・定性)		解決すべき課題							
	①	北の大地マルシェ直売事業 ・6月上旬から11月上旬まで、JA空き店舗を借用した直売所運営 ・地域住民が集う場所としてのカフェの開業	<初年度> 来場者 期間中900人(予定) 売上 年間750千円(予定) <29以降> 前年度比10%増		・効率的な直売所運営が図れるよう経営ノウハウの習得 ・都市部に対するPRの実施等、効果的な販促活動 ・構成員の積極的な参画と出荷者の増加による品揃えの確保 ・カフェメニューの開発							
	②	北の大地マルシェ加工事業 ・「塩ゆで落花生」加工販売 ・地場農産物を活かした加工品の研究	<塩ゆで落花生加工販売> 加工品の品質の均一化 <加工品の研究> 加工品の開発 1品		<塩ゆで落花生加工販売> ・加工技術の習得、向上と委託加工受入体制の確立 <加工品の研究> ・加工技術の習得、向上 ・加工品開発に係るパッケージデザイン等の情報収集							
③	交流事業 ～ フットパス交流会・落花生まつり ・7月上旬にフットパス交流会、10月上旬に落花生まつりのイベントを開催し、地場農産物の料理を楽しみながら生産者と消費者や異業種と交流や福祉団体との連携を図る。 ・活動を集落全体に波及させ、多くの住民参加を促す。	運営方法等の具体的な取組手法の定着及び集落の様々な層の住民の参加		・参加対象を広げたいが参加者の参加しやすい体制が整備されていない。(バスの確保等) ・継続した活動につなげたい。 ・集落の維持・活性化に向けた効果を発揮させたい。								
活動事項	関連NO	平成28年度			平成29年度			平成30年度			最終目標	適用事業
		内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
3年間の活動プロセス	① ②	先進地へのバス視察研修	120	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	100	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	120	1回/年開催	地域の直売所として活動の安定を図る	
	①	販売促進に係る資材(エプロン・のぼり等)費	160	エプロン15枚・のぼり10本・横幕1枚	販売促進に係る資材(のぼり等)費	508	のぼり10本・横幕2枚等	販売促進に係る資材(のぼり等)費	120	のぼり10本・横幕2枚等		
	①	マルシェPRポスター・チラシ作成	120	100部作成 1,000部作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	260	130部作成 5,000部作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	120	100部作成 1,000部作成		
北の大地マルシェ加工事業	①	加工販売に係るマーケティング研修	20	1回/年開催	加工・地場農産物を用いた料理講習会	205	2回/年開催	加工販売に係るマーケティング研修	50	1回/年開催	地場農産物のPRにつなげる	
	①②	加工技術向上に係る研修	70	1回/年開催	販売に関する実技研修会	171	2回/年開催	加工技術向上に係る研修	93	1回/年開催		
	① ②③							地場農産物レシピ集作成	140	500部作成		
交流事業	③	コースの整備	110	案内看板の設置							地域のイベントとして定着させる	
	③	フットパス交流推進に係る研修	40	1回/年開催	集落づくり・交流に関する勉強会	54	1回/年開催	地域づくりに係る研修	40	1回/年開催		
	③	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成	160	100部作成 2,000部作成	フットパス・落花生まつりチラシ作成	100	各500部作成	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成	160	100部作成 2,000部作成		
関係者等	岩見沢市農政部農業基盤整備課 主事 山崎 拓也 (連絡先 0126-23-4111) JAいわみざわ農業振興部門 次長 児玉 卓也 (連絡先 0126-22-6924) 宮島沼水鳥・湿地センター 主任 牛山 克己 (連絡先 0126-66-5066) 北海土地改良区水土里ネット推進室 室長 高柳 広幹 (連絡先 0126-22-2400) 空知農業改良普及センター 専門普及指導員 佐久間 裕美子 (連絡先 0126-23-2900)											

別記様式第1号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業の地域活動支援事業に係る実施要望調書

総合振興局等名	根室振興局	市町村名	根室市
活動地区名	厚床	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクトプロジェクトチーム
市町村担当者所属・氏名	根室市農林課 農政主査 小川明保	関係指導員名	
活動地区の現状及び活動団体の活動状況(実績)	<p>根室市厚床地区は、本土最東端である根室市の中心街から西に約30kmの距離に位置する。国のパイロットファーム事業により大規模な草地在り造成されており、基幹産業の一つである酪農業を中心に漁業や林業などの1次産業に加え、ラムサール条約登録湿地である風連湖や春国岱、農村景観やフットパスを活かした観光業が主な産業である。</p> <p>平成28年12月現在の地区人口は621人(296世帯)であるが、1次産業の衰退により人口は減少傾向にある。</p> <p>本地区は、釧路と根室を結ぶ国道44号線、別海町方面へ通じる国道243号線の国道2路線や鉄道環境についてはJR根室本線を有し、根室市内、釧路市、中標津町へのバス路線も充実していることから根室管内の玄関口としての交通拠点となっている。また、中標津空港から車で1時間圏内に位置しており、首都圏からのアクセスが便利である。</p> <p>また、2001年には、農協青年部の有志5名が、地域交流人口の増加と消費者の酪農産物への理解を深めてもらうことを目的に「酪農家集団AB-MOBIT」を結成し、道内でのフットパスの先駆けとして厚床地区に3コース約30kmの歩く道を整備した。この取組は、地域と都市住民の交流が一層活発化し、異業種間交流が進むことで地域の活性化に大きな社会的効果を与え、農林水産省の「立ち上がる農山漁村」の優良事例に選定された。その後、築拓キョンプ場、厚床家畜動物園、食品加工体験館、ファームレストランとフットパスと連動した交流活動を行っており、年間約3万人が当地を訪れている。</p>		
活動地区及び活動団体の活動における課題	<p>①産業振興の面では農商工連携が遅れている。</p> <p>②地域間交流の促進の面では、町の玄関口としての地の利が活かされていない。</p> <p>③地域交通の面では、交通拠点のメリットが活かされていない。</p> <p>④教育・文化の振興面では、文化に触れる機会が減少している。</p> <p>⑤集落の整備面では、災害時における孤立が懸念される。</p> <p>⑥生産年齢人口が少ないため地域おこし活動の担い手がいない。等が課題として挙げられる。</p> <p>厚床地区は、根室市の玄関口という非常に重要な役割を担う地区であり、厚床地区の活性化は根室市全体の地域経済の活性化につながるものである。</p> <p>また、厚床地区には、風蓮湖、春国岱、農村景観、厚床獅子舞、ラムサール条約登録湿地、大手乳業会社、厚床・別当賀フットパス等の魅力的な地域資源を有しているが、そのポテンシャルを生かし切れていないのが実情である。</p> <p>地区の活動団体である酪農家集団AB-MOBITは、現在、所属農協はもとより、公共交通機関、地元乳業、商店とは連携があるもの、地元町内会とは直接連携はなく、地域住民を巻き込んだ活動には至っていない。</p>		

地域の活性化に向けた展開方向

本事業を実施することで、先に記述した地域資源を活かし、農業と観光業を融合させるなど、農商工連携を促進しながら、都市住民と地域住民との交流拠点づくりに取り組み、根室市の玄関口という地の利を活かした地区の活性化を図ることを目的とする。

○地域間交流促進による交流人口の増加

- ・心豊かな暮らしと自然を有する農山漁村に対する都市住民の関心が高まりを見せる中、地域住民と都市住民がふれ合い、相互理解を深めることにより、「人」、「モノ」、「情報」が行き交う活気ある地域を形成する。

○地域資源を生かした産業の活性化

- ・地域資源や地場産業を積極的に活用し、新たな商品開発や販路拡大の取り組み、観光サービスによる就業の場を創出するなど、農商工連携や6次産業化の促進による地域産業の活性化を図る。

○住民が安心して暮らせる地域づくり

- ・緑豊かな自然、歴史や風土を基盤にして、地域の特性を活かしつつ、安全性、健康性、利便性、快適性が備わった住みよい環境を整備する。

以上を達成するため、初年度は酪農家集団AB-MOBITが中心となり、厚床連合町会と新たな地域づくりの組織を立ち上げ、地域資源の確認と共有、その活用方法の手法の整理を専門家をまじえて行い、今後の厚床地区の姿を目標づける。また、担い手モデルとして大学のゼミ合宿の誘致を図り、地域おこしの担い手となる仕組みづくりと検証を行う。

※厚床地区には残念ながら地域住民が立てた地域づくり構想がなく、本事業でこのプロセスを体感することが重要だと考える。

別記様式第1号の2

活動地区（活動団体）に係る概要調書（平成29年8月現在）

活動地区名	厚床地区		活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクトプロジェクトチーム
地区（団体）の主な活動歴				
<p>代表者の活動歴等</p> <p>現代表は馬場晶一。帯広畜産大学卒業後、家業の酪農業を引き継ぎ営むかたわら、農協青年部役員、酪農家集団AB-MOBITメンバーとして、別当賀パスの整備リーダーとして事業をけん引する。</p>				
地区（団体）の構成員に関わる事項				
氏名	年齢	性別	職業	特記事項
馬場 晶一	45	男	酪農家	プロジェクト代表
岩間 公博	73	男	無職	(厚床連合町会長)
金浜 憲	67	男	自営業	(厚床連合町会副会長)
佐藤 幸裕	41	男	農協職員	(JA道東あさひ根室支所 営農振興課課長)
小川 明保	43	男	市職員	(根室市農林課 農政主査)
伊藤 泰道	53	男	酪農業	(酪農家集団 AB-MOBIT 事務局)

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成 29 年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	厚床地区	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積算根拠
地域ビジョン作成に向けた地域住民の意識醸成に資する。	報償費 旅費	地域おこしに係るワークショップ	132,000 円 210,000 円 計 342,000 円	◆報償費 11,000 円*4hr*3 回 ◆旅費(札幌～根室) 航空機、1泊*3 回

平成29年度研修事業

1 第1回幹事会

- (1) 日 時 平成29年5月24日(水) 13:30～15:20
- (2) 場 所 北海道立道民活動センター かでの2.7 610会議室
- (3) 出席者 13名(うち幹事10名)
- (4) 内 容 ブロック別ミーティング、地域づくり研修会、現地研修会、里づくり16号(30年2月)

2 情報誌「里づくり15号」(8月3日発行)

- (1) 部 数 1000部
- (2) 内 容
 - ① リレーインタビュー (株)北海道百科 常務取締役 勝浦 忠氏
 - ② 里づくりアドバイザーレポート 森町 宮崎指導員
 - ③ 実践!地域づくり りびら食楽カモミールの会

3 地域づくり研修会

- (1) 日 時 平成29年9月5日(火) 14:00～17:15
- (2) 場 所 札幌全日空ホテル 23F白樺の間
- (3) 出 席 74名(うち指導員22名)
- (4) 内 容
 - ① 基調講演 基調講演「タイ人から見た農村観光の魅力」
合同会社STAYLINK プーワナット・スパープクン氏
 - ② パネルディスカッション「農村の魅力と観光需要を結びつけるためには」
コーディネーター:北海道大学院農学研究院 小林 国之氏
パネリスト:プーワナット・スパープクン氏
(有)緑友会六輪村 代表取締役 東寺 百合子氏
(株)いただきますカンパニー 代表取締役 井田 芙美子氏
鶴居村観光協会 事務局長 服部 政人氏

4 現地研修

- (1) 日 程 平成29年10月18日(水)～19日(木)
- (2) 場 所 八雲町、江差町、厚沢部町
- (3) 出 席 25名(うち指導員15名)
- (4) 内 容 八雲町:味菜工房、八雲丘の駅訪問
江差町:江差海の駅、いにしえ街道散策など
厚沢部町:厚沢部町河川資源保護振興会の活動報告

5 ブロック別ミーティング

- (1) 道東ブロック
 - ① 日 程 7月25日(火)～26日(水)
 - ② 場 所 別海町、厚岸町
 - ③ 出 席 26名(うち指導員15名)

④ 内 容

- ア 現地研修 NPO法人厚岸ネット理事長 竹田 敏夫氏
堅展実業(株)厚岸蒸溜所長 立崎 勝幸氏
べつかい乳業興社代表取締役専務 近岡 一詩氏
- イ 活動報告 水沼和子指導員(別海町)、高橋美佐子指導員(厚岸町)
- ウ グループ討議

(2) 道北ブロック

① 日 程 8月1日(月)～2日(火)

② 場 所 留萌市、小平町

③ 出 席 18名(うち指導員9名)

④ 内 容

- ア 現地研修 留萌市幌糠農業農村支援センター農産物加工施設
留萌市農林水産課 峨家 知広氏
- イ 特別講話 小平町地域おこし協力隊 新井田 政実氏
小平町地域おこし協力隊 麻生 雄司氏
(株)丸夕田中青果 総括本部長 田中 美智子氏
- ウ グループ討議

(3) 道央ブロック

① 日 程 11月7日(火)～8日(水)

② 場 所 日高町、平取町、浦河町

③ 出 席 17名(うち指導員9名)

④ 内 容

- ア 講 演 釣り堀仁世宇園 代表 佐々 憲一氏
びらとり農協 理事 糸屋 新一郎氏
- イ 活動報告 里平食楽カモミールの会「指導員活動報告」「糶小屋視察」
日高町ふる水指導員 田中 義光氏
新冠町ふる水指導員 佐藤 剛氏
日高町ふる水指導員 中村勇市氏
日高町ふる水指導員 中川 貢氏

(4) 道南ブロック

① 日 程 11月15日(水)～16日(木)

② 場 所 北斗市、知内町

③ 出 席 18名(うち指導員9名)

④ 内 容

- ア 施設見学 (有)緑友会六輪村 代表取締役 東寺 百合子 氏
ニラ集荷施設 JA新はこだて知内支店 千葉 大輔氏
農産物加工わくわく工房 知内町ふる水指導員 笠松 悦子氏
- イ 活動報告 せたな町ふる水指導員 富樫 一仁氏
- ウ 意見交換会

6 WEB版「里づくり」の発行

- (1) 発行 毎月、随時
- (2) 内容 委員会、研修事業、指導員の活動状況等について

7 全国研修

- (1) 日程 12月12日(火)～13日(水)
- (2) 場所 東京都渋谷区代々木 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (3) 内容
 - ① 講演 産経新聞社論説委員・大正大学客員教授 河合 雅司氏
(一社)持続可能な地域社会総合研究所長 藤山 浩氏
 - ② 事例紹介 島根県農林水産部・島根県土地改良事業団体連合会
富山県氷見市 NPO法人速川活性化協議会
長崎県波佐見市 鬼木棚田協議会
 - ③ 意見交換会

----- (以下、今後の予定) -----

8 第2回幹事会

- (1) 日程 1月23日(火) 10:00～
- (2) 場所 道庁本庁舎7階農政部中会議室
- (3) 内容 指導員会役員の選任、地域づくり研修会、現地研修、ブロック別ミーティング、里づくり17号(30年7月)の企画等

9 第1回指導員会

- (1) 日程 1月23日(火) 13:30～
- (2) 場所 北農健保会館(札幌市中央区北4西7) 会議室エルム
- (3) 内容
 - ① 講演 北海道大学大学院農学研究院(ふる水委員会座長) 山本 忠男氏
 - ② ブロックミーティング報告 4指導員
 - ③ 活動報告 七飯町 田中いずみ指導員
 - ④ 農村設計課から
 - ⑤ グループ討議・意見交換

10 情報誌「里づくり」16号(2月下旬発行)

- (1) 部数 1000部
- (2) 内容
 - ① リレーインタビュー ○○○○
 - ② 里づくりアドバイザーレポート 鶴居村 水本梨佳指導員
 - ③ その他 新規委嘱者紹介等